

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2026年19週 (5月1週 5/4~5/10)

2026年4月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

水痘、梅毒、侵襲性肺炎球菌感染症、麻しん

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

ヒトメタニューモウイルス感染症、RSウイルス感染症等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(11)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、腸チフス(1)、日本紅斑熱(1)、レジオネラ症(3)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(6)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(11)、百日咳(4)、麻しん(1)

◇2026年4月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ 水痘 (図1)

19週の定点当たり報告数は0.50、18週25人→19週50人(2.00倍)です。

◆ 梅毒 (図2)

2026年19週までの累積報告数(診断週集計、2026年5月13日現在)は262件(男160件、女102件)です。2025年19週までの累積報告数は318件(男183件、女135件)、2025年総報告数は857件(男496件、女361件)でした。全国の2026年18週までの累積報告数は3,706件です(全国の2025年総報告数は13,530件)。

◆ 侵襲性肺炎球菌感染症 (図3)

2026年19週までの累積報告数(診断週集計、2026年5月13日現在)は105件です。2025年19週までの累積報告数は137件、2025年総報告数は254件でした。全国の2026年18週までの累積報告数は1,128件です(全国の2025年総報告数は3,391件)。

◆ 麻しん

2026年19週(診断週)までの累積報告数は26件です。2025年19週までの累積報告数は8件、2025年総報告数は18件でした。全国の2026年18週までの累積報告数は462件です(全国の2025年総報告数は265件)。

【参考ページ】麻しんについて(厚生労働省)

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2026)

麻しん及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種勧奨並びに麻しん及び風しんの任意接種に関する案内等について(令和8年3月31日付け事務連絡)

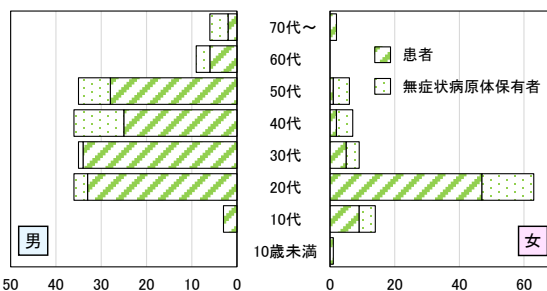
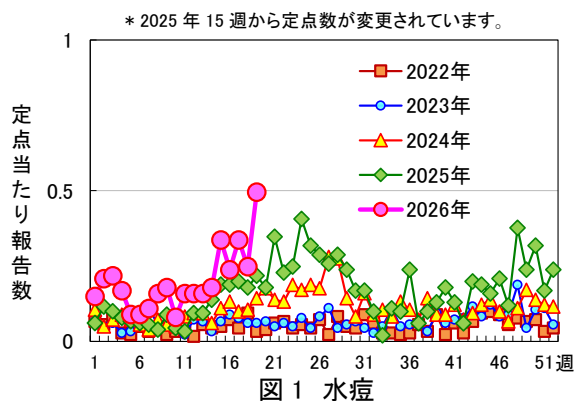


図2 梅毒の2026年の性別・年齢階級別報告数 (愛知県、診断週集計、2026年5月13日現在)

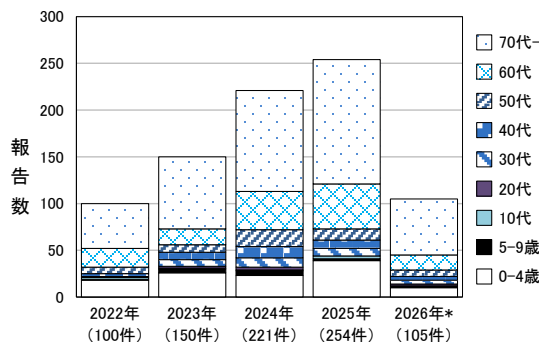


図3 侵襲性肺炎球菌感染症の年齢層別報告数 (愛知県、診断週集計、*2026年5月13日現在)

病原体検出情報 —2026年疾患別ウイルス検出速報— (2026年5月1日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎・脳症
患者数	27(8)	-	1(1)	-	-	-	2	-
RV-A	3(3)	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	11(11)	-	-	-	-	-	-	-
検査中	11	-	1	-	-	-	2	-
陰性	2(2)	-	-	-	-	-	-	-

- ・ ()内の数は前回の情報からの増加分を示しています(再掲)。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。

略: ウイルス名

NV: ノロウイルス、RV: ロタウイルス

病原体検出情報 —2025年疾患別ウイルス検出速報— (2026年5月1日現在)

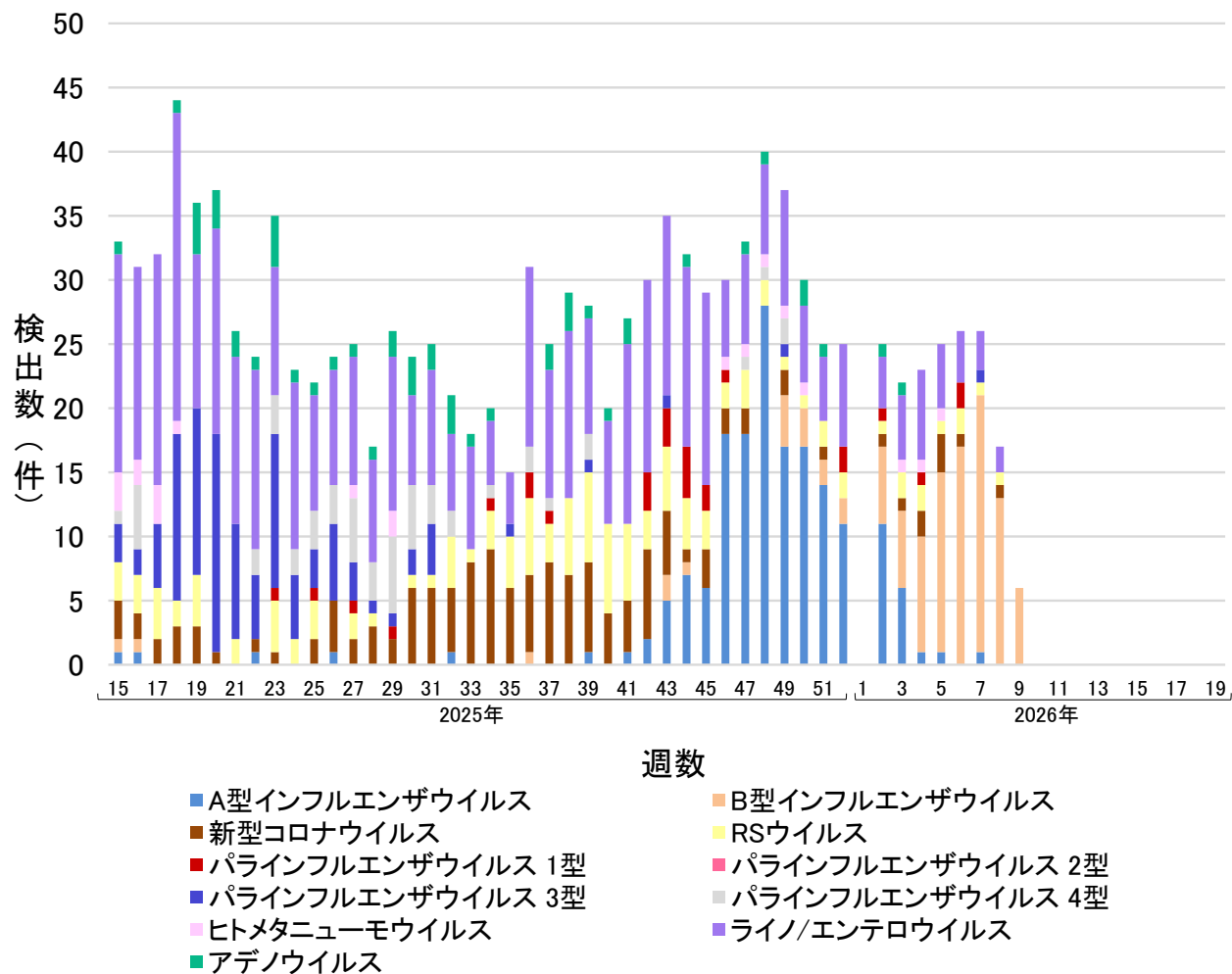
	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎・脳症
患者数	47	4	5	4	-	-	7	3
CV-A4	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
EV-A71	-	1	-	-	-	-	-	-
E-11	-	1	-	-	-	-	1	-
E-18	-	-	-	-	-	-	1	-
HRV	-	1	1	-	-	-	1	-
PeV-A1	1	-	-	-	-	-	-	-
PeV-A3	-	-	-	-	-	-	1	-
PeV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-
HPIV-3	-	1	-	1	-	-	-	-
HPIV-4	-	-	-	-	-	-	-	1
RSV	-	-	1	-	-	-	-	-
RV-A	2(1)	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	2(1)	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	18(2)	-	-	-	-	-	-	-
SV	6(3)	-	-	-	-	-	-	-
HAdV-2	-	-	-	3	-	-	-	-
HAdV-3	-	-	-	1	-	-	-	-
HAdV-41	5	-	-	-	-	-	-	-
検査中	3	-	-	-	-	-	-	-
陰性	11(1)	-	2	-	-	-	4	2

- ・ ()内の数は前回の情報からの増加分を示しています(再掲)。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。

略: ウイルス名

CV: コクサッキーウイルス、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、HAdV: アデノウイルス、
 HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HRV: ライノウイルス、NV: ノロウイルス、
 PeV: パレコウイルス、RSV: RSウイルス、RV: ロタウイルス、SV: サポウイルス

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) 検体からのウイルス検出数 (2026年5月1日現在)



- ・ 検体採取日の週でウイルス検出数を集計しています。
- ・ 集計時点における検出数であるため、過去に掲載された値とは必ずしも一致しません。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。
- ・ ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたものです。

* 急性呼吸器感染症 (ARI) 検体からの病原体検出内訳(csv ファイル)は[こちら](#)からダウンロードできます。

定点医療機関コメント（名古屋市除く）**尾張西部地区**

- ヒトメタニューモ感染症 3例(2～5歳)
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 女(11か月)
【一宮市 平谷小児科】
- hMPV 2例
ヒトライノウイルス 1例
流行性角結膜炎 Adeno(+) 1例
他はなし。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 落ち着いてました。
ヘルパンギーナが1名でした。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- ヒトメタニューモウイルス感染症 2歳男 1名
【津島市 田中こどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 1歳男 1名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザA 男 1名
【瀬戸市 公立陶生病院】
- 目立った感染症はありません。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザ、covid-19 ともになし
水痘 1名(7歳)
【日進市 みやがわクリニック】
- 感染症は落ち着いている
【豊明市 おおはしこどもクリニック】
- hmpv 1歳、3歳、5歳
【小牧市 志水こどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 32歳 男 1例
【大府市 小児科内科児玉クリニック】
- COVID-19 40歳 1例
RS、気管支炎 1歳 各1例
猩紅熱 4歳 1例
ヒトメタニューモ 1歳男 1例
【大府市 みどりの森クリニック】

西三河地区

- ヒトメタニューモウイルス感染症 1歳男 2名
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- ヒトメタニューモウイルス感染症
14歳女 1名
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザ 0名
【岡崎市 みなとクリニック】
- 目立つ感染症なしです。
【安城市 マグマグこどもクリニック】

東三河地区

- hMPV 2歳男、3歳男、3歳女
【豊橋市 富田小児科】
 - hMPV 感染症 3名(4か月男、2歳女、4歳女)
【豊橋市 マミーローズクリニック】
 - RSV 感染症、hMPV 感染症 各1名
【豊橋市 いむれ内科クリニック】
 - ヒトメタニューモウイルス陽性
2歳女、1歳男、4か月男
【豊橋市 かわい小児科】
 - ヒトメタニューモウイルス 1か月女
【蒲郡市 畑川クリニック】
 - マイコプラズマ尿道炎 3名
トリコモナス尿道炎 1名
【豊橋市 古島クリニック】
- [4月報 STD 定点コメント]

一類～三類感染症

< 関連リンク > 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun260406.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2026年19週報告数			2026年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	6	2	2	183	30	56
豊田市				13	1	4
豊橋市	1	1		10	2	2
岡崎市				11	2	3
一宮市				19	3	9
瀬戸	2			25	2	8
半田	1			17	4	5
春日井	1			16	4	4
豊川				13	2	2
津島				14	2	3
西尾				5		3
江南				16	4	8
新城						
知多				8	2	2
清須				5	1	
衣浦東部				15	2	5
合計	11	3	2	370	61	114

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所地域	年代	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	30代	女	-/-	5/7	5/7	○103、VT1(+) 無症状病原体保有者

● 腸チフス（三類感染症）

番号	報告保健所地域	年代	性別	発病月日	初診月日	診定月日	感染地域
1	名古屋市	20代	男	4/8	4/13	5/8	バングラデシュ

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **日本紅斑熱（四類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	感染地域
1	西三河	60代	女	豊田市

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	50代	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	70代	男	肺炎型	国内
3	尾張西部	80代～	男	肺炎型	不明

● **急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域
1	東三河	20代	女	病原体不明	国内

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	血清群	感染地域
1	東三河	80代～	女	B群	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	70代	女	不明	国内
2	尾張西部	80代～	男	不明	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	60代	女	不明	国内
2	名古屋市	10歳未満	女	有	国内
3	尾張西部	10歳未満	男	有	国内
4	尾張西部	60代	男	不明	不明
5	西三河	30代	男	不明	国内
6	東三河	70代	男	無	国内

● **水痘（入院例に限る。）（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	60代	男	不明	国内

● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	30代	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	40代	男	早期顕症	不明	不明
8	名古屋市	10代	女	無症候	性的接触	国内
9	名古屋市	20代	男	早期顕症	性的接触	国内
10	名古屋市	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
11	尾張西部	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	名古屋市	30代	女	不明	不明	
2	名古屋市	30代	女	不明	家族内感染	
3	西三河	10歳未満	女	不明	国内	
4	東三河	30代	男	不明	国内	
● 麻しん（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	10歳未満	男	有	ベトナム	

4月の～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2025～2026年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2026年4月			2026年	＜参考＞2025年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	1-4月 累計 ＜愛知県全体＞	1-4月 累計 (昨年掲載値) ＜愛知県全体＞	総計 ＜愛知県全体＞
一類 (7) 【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	54 (16)	52 (13)	106 (29)	362 (113)	265 (63)	940 (258)
三類 (5) 腸管出血性大腸菌感染症	6 (3)	2 (0)	8 (3)	26 (10)	34 (10)	210 (52)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	1	1	5	6	12
A型肝炎	0	0	0	1	2	8
オウム病	0	0	0	0	0	1
重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	0	7
チクングニア熱	0	0	0	0	1	2
つつが虫病	0	0	0	0	0	7
デング熱	2	1	3	5	0	4
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	16
ブルセラ症	0	0	0	0	0	1
マラリア	0	0	0	1	0	2
レジオネラ症	4	1	5	33	34	163
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1
五類 (25) アメーバ赤痢	1	4	5	11	13	26
ウイルス性肝炎	0	0	0	2	2	12
内訳 B型	0	0	0	2	2	9
その他	0	0	0	0	0	3
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	2	5	18	37	101
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	1	2
急性脳炎	2	2	4	10	16	36
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	3	4	12
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	2	8	31	46	93
後天性免疫不全症候群	2	3	5	18	12	52
内訳 無症候性キャリア	1	3	4	12	6	31
AIDS	1	0	1	3	3	17
その他	0	0	0	3	3	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	1	4	12	23	54
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	3	3	6
侵襲性肺炎球菌感染症	16	7	23	100	124	254
水痘(入院例に限る。)	4	1	5	14	13	46
梅毒	30	49	79	257	287	857
内訳 無症候	8	6	14	64	88	235
早期顕症	19	42	61	186	194	605
晩期顕症	3	1	4	6	5	16
先天梅毒	0	0	0	1	0	1
播種性クリプトコックス症	0	0	0	3	5	13
破傷風	0	0	0	0	1	9
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0	0
百日咳	18	8	26	160	457	3,625
麻疹	1	1	2	25	7	18
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	1	1	1
総 計	153	137	290	1,103	1,396	6,593

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2026年4月			2026年 1-4月 累計		<参考>2025年				
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		愛知県全体		
				合計	合計	合計	合計			
性器クラミジア感染症	男	22	60	82	374	623	460	726	1,407	2,230
	女	35	18	53	249		266		823	
性器ヘルペスウイルス感染症	男	14	41	55	230	412	242	408	766	1,306
	女	20	19	39	182		166		540	
尖圭コンジローマ	男	7	29	36	139	169	191	223	531	648
	女	5	1	6	30		32		117	
淋菌感染症	男	10	28	38	201	238	246	292	703	817
	女	7	4	11	37		46		114	
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	57	12	69	262		293		823	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0	2	11		16		34	
	薬剤耐性緑膿菌感染症*	1	0	1	1		1		2	

* 2026年4月6日から、定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更となり、その名称が「多剤耐性緑膿菌感染症」に変更されました。

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2026年4月			2026年 1-4月 累計	2025年 総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0	13

感染症の類型及び定義(感染症法)

2026年4月6日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (50疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所

2026年19週(2026年5月4日～2026年5月10日)

	定点数					ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点							
	ARI	小児科	眼科	STD	基幹	急性呼吸器感染症(ARI)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	COVID-19	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	インフルエンザによる入院患者	COVID-19による入院患者	
愛知県全体	163	101	35	54	15	7,639	31	36	17	14	87	301	50	9	3	12	6	2	0	4	0	0	5	0	1	0	2	
愛知県 (名古屋市を除く)	113	70	24	39	12	5,766	20	27	12	7	71	228	35	6	3	9	3	1	0	4	0	0	3	0	0	0	2	
名古屋市	50	31	11	15	3	1,873	11	9	5	7	16	73	15	3		3	3	1					2	1				
瀬戸	9	6	2	3	1	446	1		1	1	11	11	6															
津島	7	4	2	2	1	356		1			1	27	1			1												
清須	7	4	2	2		493	2	1			5	26																
一宮市	9	5	2	3	1	520	5	2	4	1	3	22	1	1						1								
春日井	9	6	2	3	1	408		4	2		3	14			1													
江南	6	4	1	2		190					3	14				1	1											
半田	6	4	1	2	1	362	1	1			2	6	3			1				1								
知多	7	5	2	2		368	3	1	1	1	18	11	8															
岡崎市	9	5	2	4	1	359		2		1	2	31				1												
衣浦東部	12	8	2	4	1	424	4		2	1	4	10	2	1	2	3	1						3					
西尾	5	3	1	2	1	257	1	1			3	10					1	1										
豊田市	9	6	2	4	1	791	3	4			2	15	3															
豊橋市	9	5	2	4	1	465		2	1	2	11	25	9			1												
豊川	7	4	1	2	1	280		1	1		3	6	2	4		1				2								
新城	2	1			1	47		7																				2

2025年4月7日からの急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの開始に伴い、愛知県の定点医療機関数が変更されました。

